

## 第Ⅲ章 防疫対応マニュアル

### 第5

#### 防疫作業の指揮体制と 発生農場周辺および集合場所の運営

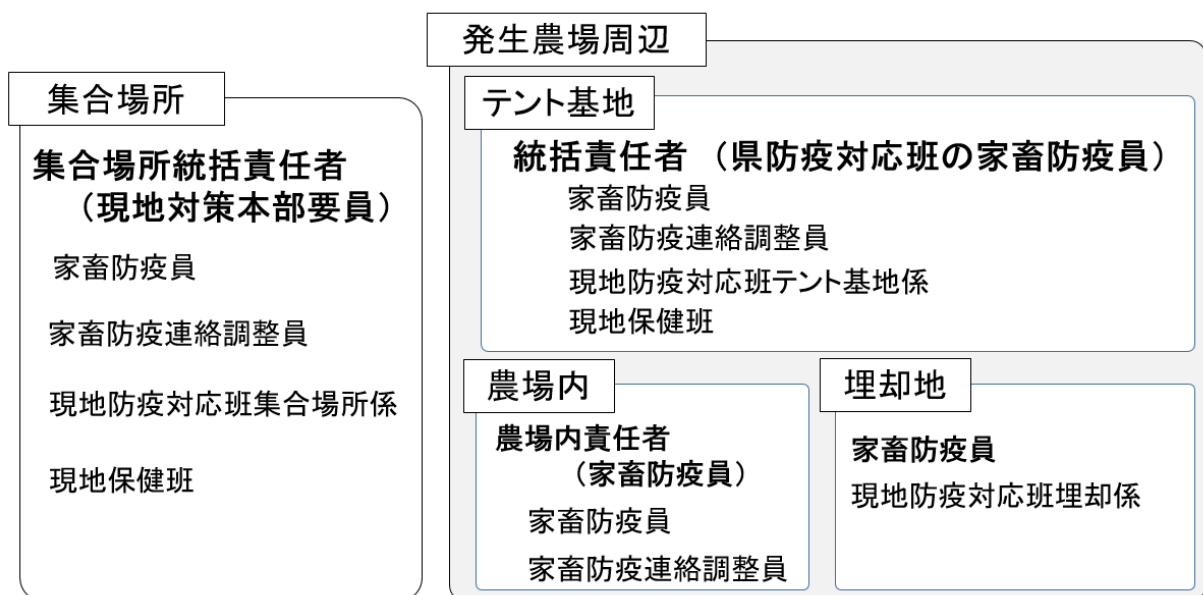
## 1 防疫作業の指揮体制

現地対策本部から派遣される集合場所責任者が集合場所全体を、テント基地の統括責任者（県防疫対応班の家畜防疫員）が農場および埋却地を含む発生農場周辺を統括する。農場および埋却地においてはそれぞれに家畜防疫員を配置し、統括責任者のもと、各配置場所の作業を指揮する。

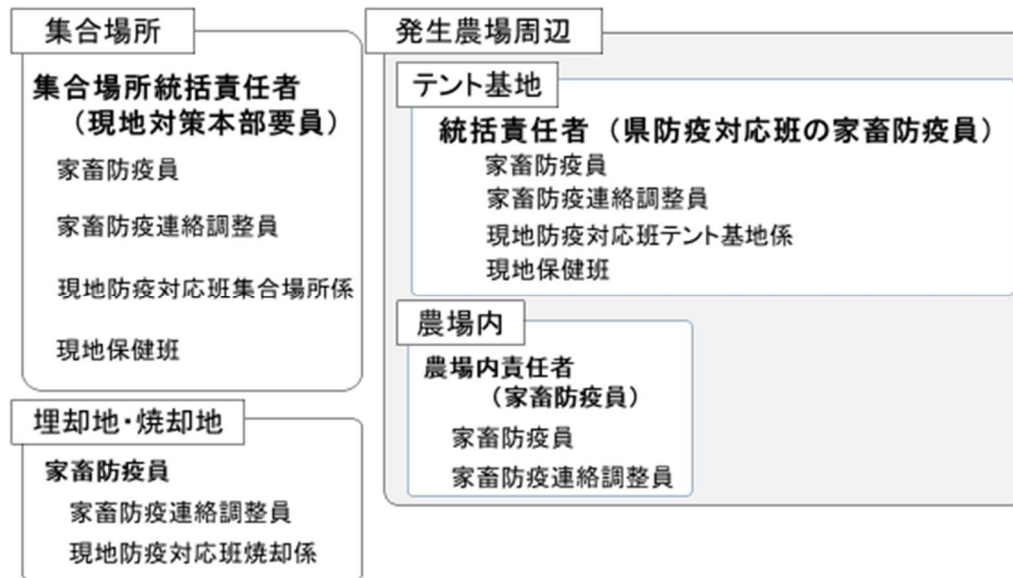
防疫作業場所が遠方になる場合や農場規模、作業状況等を考慮して、防疫作業に従事する者への指示や情報伝達が適切にされる体制を構築する。県対策本部および現地対策本部は必要な要員を配置すること。農場統括責任者は、家畜防疫連絡調整員、現地本部テント基地係、農場内責任者および協力関係団体と、定期的（概ね1時間に1度）にミーティングを実施し、防疫作業の進捗、防疫作業従事者の動員状況および配置、資機材の過不足等について確認し、現状と今後の動きを共有する。

また、作業に従事する者の労働安全に常に注意し、労務災害防止を心がけるとともに、必要に応じて安全確保のための人員の配置、安全用具の使用等を考慮する。農場統括責任者は、緊急時に備え、テント基地に緊急時対応マニュアルを持参する。

<防疫作業の指揮体制（埋却地が農場内に確保される場合）>



<防疫作業の指揮体制（埋却地が農場外に確保される場合もしくは焼却の場合）>



### (1) 集合場所の指揮体制

- ・ 集合場所統括責任者（現地対策本部から配置） （1名）  
集合場所全体の統括、指揮
- ・ 家畜防疫員 （1～2名）  
班分け、作業説明、県防疫対応班との連絡
- ・ 家畜防疫連絡調整員 （1名）  
連絡調整、資機材管理、家畜防疫員の補助、記録の作成  
(家畜防疫連絡調整員が配置されない場合は、現地防疫対応班集合場所係が行う。)
- ・ 現地対策本部要員（必要人数）  
集合場所の設営および管理運営、人員および資機材の管理  
防疫作業従事者の誘導、案内  
健康調査、防護服等の着衣指導

### (2) 発生農場周辺の指揮体制

#### ① テント基地

- ・ 統括責任者（県防疫対応班の家畜防疫員を配置） （1名）  
防疫作業全体の統括、指揮
- ・ 家畜防疫員 （1～2名）  
統括責任者の補助、防疫作業従事者への指示
- ・ 家畜防疫連絡調整員 （2名）  
連絡調整、作業進捗および資機材管理状況の確認・報告、統括責任者および家畜防疫員の補助、記録の作成

- ・ 現地防疫対応班テント基地係  
テント基地の設営および運営、人員および資機材の管理
- ・ 現地保健班  
防護具着脱指導

## ② 農場内

- ・ 農場内責任者（県防疫対応班の家畜防疫員）（1名）  
農場内および隣接埋却地における作業全体の指揮、家畜防疫員等への指示
- ・ 家畜防疫員（作業内容および防疫作業従事者の班構成により人数決定）  
防疫作業の指揮、農場内責任者の補助
- ・ 家畜防疫連絡調整員（1名）  
連絡調整、作業進捗および資機材管理状況の確認・報告、家畜防疫員の補助、記録の作成

## ③ 焼埋却地

- ・ 家畜防疫員（1～2名）  
防疫作業の指揮
- ・ 家畜防疫連絡調整員（1名）  
連絡調整、作業進捗および資機材管理状況の確認・報告、家畜防疫員の補助、記録の作成  
(埋却地が農場内に確保される場合は、現地防疫対応班焼埋却地係が農場内家畜防疫連絡調整員と連携し、行う。)
- ・ 現地防疫対応班焼埋却係  
焼埋却地の調整および準備、焼埋却地全般の運営管理、作業進捗の確認および報告、家畜防疫員の補助、記録の作成

## 2 責任者等の識別方法（再掲）

運営要員および防疫作業従事者の班長は、カラーベストの着用や腕にカラーテープを巻くことにより識別する。

カラーベスト：指定のカラーベストを着用し、ベストの前後に「所属・役割」、「氏名」を記入した名札を挿入する。

カラーテープ：指定の色のテープを内側および外側防護服の両腕に1本ずつ巻きつける。

責任者等		カラーベストの色	カラーテープ
家畜防疫員	統括責任者 農場内責任者	赤	赤
	上記以外		—
	家畜防疫連絡調整員		青
現地対策本部要員	集合場所責任者	緑	—
	集合場所係 テント基地係 (現地応援隊含む)		
	焼埋却係		
	保健所職員	黄	—
防疫作業従事者	班長	—	緑

## 3 防疫作業中の事故防止対策

### (1) 安全確保のための人員配置

家畜防疫員は、家きん舎内や埋却地周辺での作業が安全に行われるよう人員を配置する。

### (2) 安全用具の使用

埋却地や重機周辺での作業および多段式ケージや飼料タンク上等の高所での作業は、ヘルメット等の安全用具を着用する。

### (3) 作業内容の周知

家畜防疫員は、作業前に作業手順や安全確保について防疫作業従事者に十分説明を行うとともに、必要に応じてデモンストレーションを行う。

### (4) 健康面への配慮

農場総括責任者は、防疫作業従事者の作業時間を把握し、現地防疫対応班および家畜防疫員に定期的な休憩を指示する。また、作業環境や作業内容等により、必要に応じて、休憩頻度や時間を調整する。農場責任者は、防疫作業従事者等から健康状態の異常等の報告があった場合は、直ちに作業を中止させ、農場統括責任者に報告する。

## 4 集合場所

### (1) 集合場所の設営

防疫作業従事者が集合し、作業従事前後の健康調査および作業準備を行う。

現地対策本部は防疫作業従事者の集合や健康調査等が円滑に運営できる会場を確保する。県防疫対応班集合場所係、家畜防疫連絡調整員と協力して第1クールの防疫作業従事者が集合するまでに設営を完了する。

#### <防疫作業従事前の作業>

- ・健康調査
- ・班分け
- ・手荷物の預かり、管理
- ・防護服着衣
- ・作業内容説明

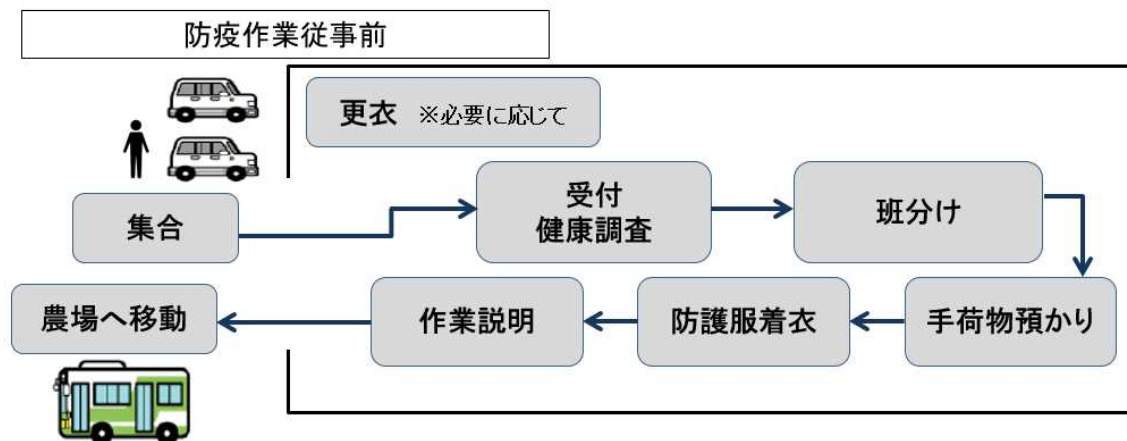
#### <防疫作業従事後の作業>

- ・健康調査、抗ウイルス薬の予防的投与（処方）
- ・手荷物の返却

#### <その他>

- ・更衣、食事等

#### 【集合場所における作業従事前の動線例】



## (2) 防疫作業従事者の集合

県防疫総括班は、防疫作業の開始時間に基づき、健康調査や防護服着衣、移動に要する時間を勘案して集合時間を決定し、県庁各部局主管課および各地域対策本部を通じ、防疫作業従事者に通知する（農場への出発時間の概ね1～2時間前を集合時間の目安とする）。

（参考：集合時間）

集合場所において防疫作業従事者の混雑が予想される場合は、集合時間に差を設ける等の配慮をする。その場合、主にサポート班に配置する女性職員に早い集合時間を設定する。

例：女性職員集合→（10分）→本庁以外男性職員→（15分）→本庁男性職員

（参考：健康調査の結果、作業不適と判断された防疫作業従事者への対応）

作業不適と判断された作業者には、集合場所責任者、家畜防疫員、健康調査担当者との協議のうえ、本人の健康状態等に応じて集合場所の運営補助、帰宅等を指示する。

## (3) 防疫作業従事者の移動にともなう連絡調整等

- ①第1クールの防疫作業従事者は、病性判定までに出発準備を整え、集合場所に待機する。防疫措置開始時間に合わせ、家畜防疫員の指示により、農場への移動を開始する。
- ②集合場所、テント基地の家畜防疫連絡調整員は、防疫作業従事者輸送用バスの発着等について相互に連絡調整を行う。（ただし、集合場所に家畜防疫連絡調整員が配置されない場合は、現地防疫対応班集合場所係が行う。）
- ③現地防疫対応班集合場所係は、集合場所で防疫作業従事者の作業班を記載した名簿を作成して防疫作業従事者の班長に手渡し、移動前後の人員確認、点呼等を実施するように指示および補助する。また、名簿をテント基地の家畜防疫員に手渡すように指示する。
- ④現地防疫対応班集合場所係は、農場等までの経路、バスの乗降場所、消毒ポイント等について、バス運行者に指示する。必要に応じてバスに添乗する。
- ⑤現地防疫対応班集合場所係（集合場所に消毒ポイントが設置されている場合は消毒ポイント係）は、防疫作業従事者の輸送用バスが発生農場から到着した際には、防疫作業従事者の降車前に車両消毒を実施する。

## 5 テント基地

### (1) テント基地の設営

発生農場における防疫作業を指揮・支援するための基地を、発生農場敷地前（農場周辺）に設営する。

設営開始に当たっては、ウイルスの拡散防止に必要となる発生農場におけるゾーニング（清浄ゾーン・グレーゾーン・汚染ゾーンの区域分け）が終了していることを設営条件とする。防疫作業従事者が到着するまでに設営を完了する。

距離の離れた複数個所で殺処分、埋却等の防疫措置を実施する場合には、各箇所に対して適切な指揮・支援が行われる体制を構築するよう柔軟に対応する。

防疫作業従事者の出入り口とは別に重機等の搬出口を設ける場合は、消毒等の感染防止対策を徹底する。

### (2) テント基地内に設けるエリア

まん延防止および作業に従事する者への感染防止が確実かつ円滑に作業が実施されることに配慮して、各ゾーンに必要なエリアを配置する。各エリアにおいては農場規模、防疫作業従事者の人数等を考慮してスペースを確保し、必要に応じてテントを設置する。

#### ① 清浄ゾーン

- ・ 本部テント

テント基地全体を運営・指揮する事務所。防疫作業の進行状況等の管理（別記様式35、36、37）、現地対策本部等との通信などを行う場所。

- ・ 防護具の装着用エリア（長靴を使い捨てる場合）

発生農場等における防疫作業の従事前に防護具を装着する場所。（長靴を再利用する場合はこのエリアはグレーゾーンとして設定する。）

- ・ 手洗い・うがい用エリア

防疫作業終了時または休憩時の防護具脱着後に手洗い・うがいを行う場所。

- ・ 休憩用エリア

飲食を含む休憩を行う場所。

- ・ 防疫資機材保管エリア

防疫作業に必要な防疫資機材の保管・管理を行う場所。

- ・ 救護用エリア

防疫作業従事者等にけがや体調不良が発生した場合に応急処置を行う場所。

- ・ 仮設トイレ設置エリア

仮設トイレを設置する場所。

- ・ 輸送バス乗降エリア

防疫作業従事者等を輸送するバスを停留させる場所。

- ・ 消毒ポイント



テント基地に出入りする車両等の消毒を行う場所。

## ② グレーゾーン

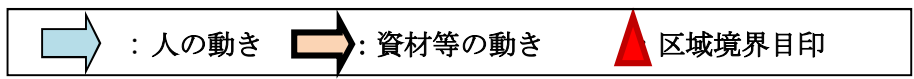
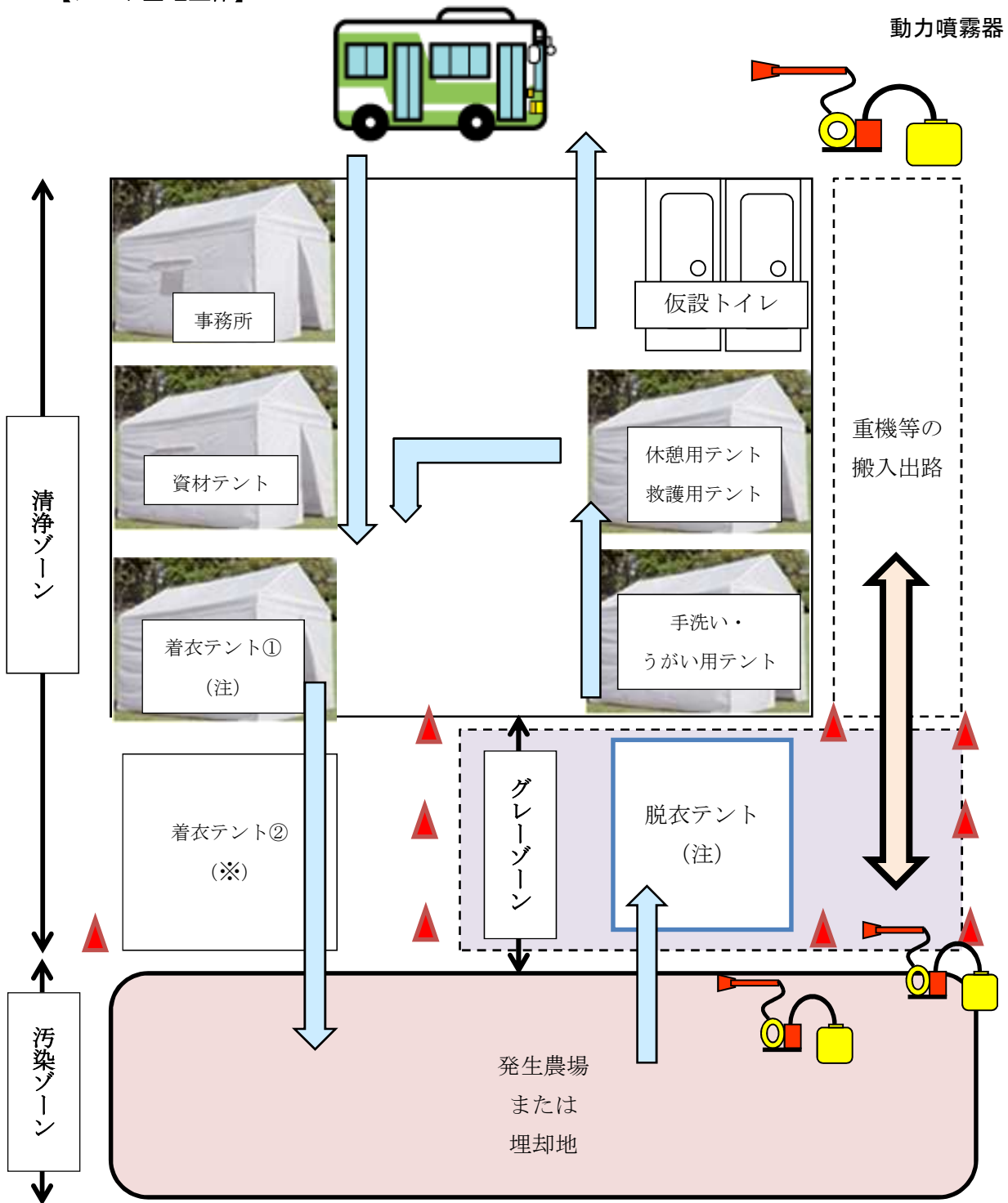
- ・ 防護具の装着用エリア（長靴を再利用する場合）  
発生農場等における防疫作業の従事前に長靴を装着する場所。（長靴を使い捨てる場合はこのエリアは清浄ゾーンとして設定する。）
- ・ 全身および靴底の消毒エリア  
発生農場等における防疫作業の従事後に、従事者の全身および靴底を消毒する場所。
- ・ 防護具の脱着用エリア  
発生農場等における防疫作業の従事後に防護具を脱着する場所。

## （３）防疫作業従事者の移動にともなう連絡調整等

テント基地、集合場所の家畜防疫連絡調整員は、防疫作業従事者輸送用の車両の発着等について連絡調整を行う。入場の際、テント基地が混雑する場合は、次クールの防疫作業従事者を、輸送用バス内で待機させる。

現地防疫対応班集合場所係は、防疫作業従事者を輸送するバスへの乗降の際の誘導、安全確保、車両消毒等を行う。また、テント基地からの乗車の際には、ブーツカバーの使用やスリッパの履き替え等により車内の汚れ防止に配慮する。

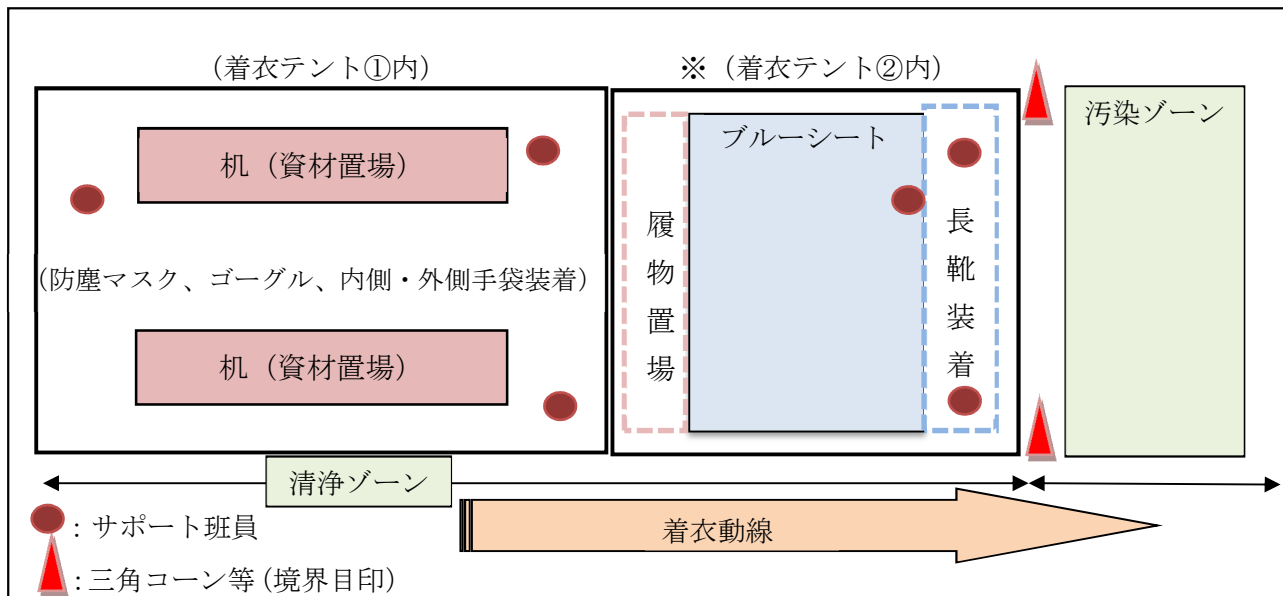
【テント基地全体】



注：着衣および脱衣テントでの防護具の着脱手順については別紙「防護具着脱手順」参照

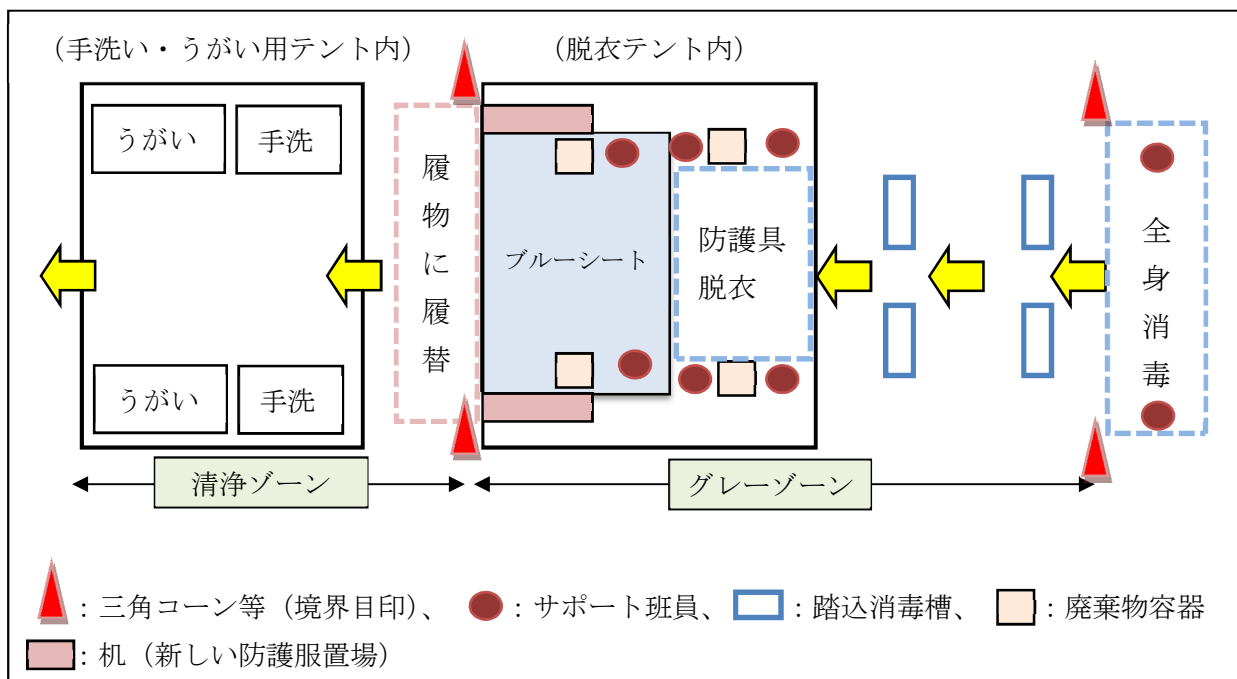
※長靴を再利用する場合には、着衣テント②をグレーゾーンとする。

**【入場時の動線例】**



※長靴を再利用する場合には、着衣テント②をグレーゾーンとする。

**【退場時の動線例】**



## 6 現地対策本部員等の健康調査

現地対策本部員、家畜防疫連絡調整員等の農場にて防疫作業にあたる職員は、下記の一覧を参考に、防疫作業従事後の健康調査を受診する。

### (参考)高病原性鳥インフルエンザ関係作業従事者の健康調査・観察一覧表

属 性		従事前健康調査	防護具の要否および種類	従事後健康調査	タミフル投与	10日間の健康観察	健康観察保健所
防疫作業従事者	殺処分班	健康調査会場	要(フル装備)	健康調査会場	対象	対象	発生地保健所
	汚染物品回収班	健康調査会場	要(フル装備)	健康調査会場	対象	対象	発生地保健所
	焼・埋却地班	健康調査会場	要(フル装備)	健康調査会場	対象	対象	発生地保健所
	サポート班(グレーゾーン)	健康調査会場	要※1	健康調査会場	不要 ※4	対象	発生地保健所
	サポート班(清浄ゾーン)	健康調査会場	要※2	健康調査会場	不要 ※4	対象	発生地保健所
現地対策本部	消毒ポイント係	なし	不要	なし	不要	不要	発生地保健所
	鶏舎内作業(農場消毒)	なし	要(フル装備)	健康調査会場 (閉鎖の場合は発生地保健所)	対象	対象	発生地保健所
	焼埋却係	なし	要(フル装備)	健康調査会場※6 (閉鎖の場合は発生地保健所)	不要 ※4	対象※6	発生地保健所
	テント基地係(グレーゾーン)	なし	要※1	健康調査会場 (閉鎖の場合は発生地保健所)	不要 ※4	対象	発生地保健所
	テント基地係(清浄ゾーン)	なし	要※2	健康調査会場 (閉鎖の場合は発生地保健所)	不要 ※4	対象	発生地保健所
	保健所職員(グレーゾーン)	なし	要※1	健康調査会場 (閉鎖の場合は発生地保健所)	不要 ※4	対象	発生地保健所
	保健所職員(清浄ゾーン)	なし	要※2	健康調査会場 (閉鎖の場合は発生地保健所)	不要 ※4	対象	発生地保健所
建設業協会等	重機オペレーター	なし	要	健康調査会場 (閉鎖の場合は発生地保健所)	不要 ※4	対象	発生地保健所
現地応援隊(現地対策本部に準じる)		なし	要※3	健康調査会場 (閉鎖の場合は発生地保健所)	不要 ※4	対象	発生地保健所
家畜防疫連絡調整員		なし	要※3	健康調査会場 (閉鎖の場合は発生地保健所)	不要 ※4	対象	発生地保健所
評価人 (家さんおよび汚染物品)	市町職員等	なし	要(フル装備)	健康調査会場 (閉鎖の場合は発生地保健所)	対象	対象	発生地保健所
家畜保健衛生所職員		なし	要(フル装備)	健康調査会場 (閉鎖の場合は発生地保健所)	対象	対象	発生地保健所
森林整備事務所職員(野鳥対応)		なし	要(フル装備)	健康調査会場 (閉鎖の場合は発生地保健所)	対象	対象	発生地保健所
養鶏場等従事者	接触者	-	-	発生地保健所	対象	対象	発生地保健所
食鳥処理関係者	接触者	-	-	施設管轄地域の保健所による調査	対象	対象	施設管轄地域の保健所

※1 フル装備からゴーグル・外手袋除き、サージカルマスク着用

※2 防護服+ヘアキャップ

※3 作業内容によっては不要

※4 作業中に感染鳥類または感染性物質に接触した場合は必要

※5 タミフル処方が必要な場合は様式3-1を使用

※6 焼却施設における焼却作業のみの場合は、健康調査は不要

## 第Ⅲ章 防疫対応マニュアル

### 第6 必要資機材量等の目安

必要資材量等の目安

※ 上段:発生規模羽数、下段:防疫作業従事者数、防疫措置終了までのケル数目安  
 ※2 必要数の下段カッコ内は防疫作業終了までの概算  
 ※2 初動以後の不足品は原則現地対策本部が調達する。現地に調達困難な場合、本部と調整する。  
 ※3 \*の資材については家保が調達する

区分	資材名 (色付きは先遣隊が搬入)	※2 発注者	※3 家保が 追加調 達する	説明等	必要数量算出基礎	※ 1,000羽 30名4ケル	※ 10,000羽 80名7ケル	※ 50,000羽 100名15ケル
(緊急消毒分含む)	消毒薬	本部	*	パコマ1L等(1,000倍希釈で使用)	薬液5L/1坪(3.3㎡)	3	6	15
	動力噴霧機	本部			緊急消毒後は脱衣、農場入り口に用い	5	5	5
	ガソリン缶	本部		動噴など燃料補給用。		4	4	4
	ローリータンク100L	本部				6	6	6
	タフカート	本部		100Lローリータンク運搬用		6	6	6
	ローリータンク200L	本部				1	1	1
	軽トラック	現地		200Lローリータンク運搬用 (必要に応じ)				
	フォークリフト	現地						
	ハレット	本部						
	ホースリール	本部						
	蓄圧式噴霧器	本部			必要に応じて使用	7	7	7
	背負い式電動噴霧器	本部		7L、単一乾電池6本	必要に応じて使用			
	乾電池 単1	本部						
	消石灰(20kg/袋)	本部	*	農場の敷地全面に散布	1kg/㎡、20㎡/袋が必要量	75	200	500
	ハンドスコップ	本部		消石灰 手やり散布用(トシやく代替)。		3	3	3
一輪車	本部		緊急消毒後は資材・汚染物品運搬		10	10	10	
竹ぼうき	本部			必要量	5	5	5	
簡易消石灰散布機	本部		必要に応じて使用					
殺菌剤	本部		エンドックス等、1kg	必要に応じて使用				
通行の制限等	投光器	現地		発電機付	1個/1カ所(3か所で算出)	3	3	3
	赤コーン	本部			3個/1カ所(3か所で算出)	9	9	9
	コーンベット	本部				9	9	9
	ガードバー	本部				9	9	9
	立入禁止テープ	本部			1本/1カ所(3か所で算出)	9	9	9
	消毒薬	本部	*	パコマ1L等(1,000倍希釈で使用)	薬液5L/1坪(3.3㎡)	3	6	15
	蓄圧式噴霧器	本部		通過車両等の消毒	1個/1カ所(3か所で算出)	3	3	3
	誘導灯(指示棒)	本部		単2電池タイプ	1本/1カ所(3か所で算出)	3	3	3
	乾電池 単2	本部				12	12	12
	赤色灯等	本部		誘導灯および投光器での代用も可	1本/1カ所(3か所で算出)	3	3	3
	看板	現地		通行止め・通行理由の2種類	2種類/1カ所(3か所で算出)	6	6	6
	椅子	現地			2個/1カ所(3か所で算出)	6	6	6
	雨合羽	本部			2枚/1カ所(3か所で算出)	6	6	6
	消石灰(20kg/袋)	本部	*	発電機付またはドラムコードで農場電源利用	2袋/1カ所(3か所で算出)	6	6	6
	(衛生管理区域境界 農場入り口)	投光器	現地				1	1
赤コーン		本部			必要量	9	9	9
コーンベット		本部				9	9	9
ガードバー		本部				9	9	9
誘導灯(指示棒)		本部		単2電池タイプ		3	3	3
乾電池 単2		本部				12	12	12
赤色灯等		本部		誘導灯および投光器での代用も可		1	1	1
立入禁止看板		本部				3	3	3
立入禁止テープ		本部				10	10	10
タープテント		本部		初動時着脱用、その他 5.4m×5.4m		3	3	3
ブルーシート小		本部		初動時着脱用、その他		5	5	5
雨合羽		本部				4	4	4
動力噴霧機		本部				1	1	1
ローリータンク200L		本部		200L	1台/1カ所	1	1	1
ホースリール		本部				1	1	1
消毒薬	本部	*	パコマ1L等(1,000倍希釈で使用)		1	1	1	
す農 場目 地敷 合張 り境 現地基地	ブルーシート	現地		高さ2m×設置個所(必要農場敷地分)				
	杭等	現地			2m間隔分(設置幅/2)			
	ハンマー(木槌)等	現地			必要量			
	防疫フェンス	現地		(必要に応じて)	(必要に応じて)			
	投光器	現地		発電機付またはドラムコードで農場電源利用				
	車	本部		(手配必要な場合)		1	1	1
	カラーベスト(赤)	本部				14	14	14
	カラーベスト(青)	本部				8	8	8
	カラーベスト(緑)	本部				32	32	32
	カラーベスト(黄)	本部				6	6	6
	投光器	現地		発電機付	発電機付	6	6	6
	仮設電源	現地			農場から電源をとることも可 農場から水源をとることも可			
	仮設水道・給水車	現地						
	テント	現地		本部用1、資材用1~2		1	3	3
	テント用ライト	現地						
横幕	現地							
本部 テント	コンテナハウス	現地		事務所	必要に応じて	1	1	1
	ガソリン缶	本部		必要に応じ(動噴など燃料補給用)	20L	4	4	4
	軽油缶	本部			20L	4	4	4
	軍手	本部		滑り止め付き	テント設営、資材運搬	100	100	100
	ブルーシート小	本部		5.4m×5.4m 初動時着脱用、その他		5	5	5
	養生テープ	本部			必要量	30	30	30
	デジタルカメラ	本部		防水		3	3	3
	パソコン(通信機器含む)	本部			必要に応じて	1	1	1
	時計	本部		掛け時計		1	1	1
	長机	現地			必要量			
	パイプいす	現地			必要量			
	ワイヤレスアンプ	本部		作業説明用、防滴仕様		3	3	3
	乾電池 単2	本部			ワイヤレスアンプ用2本入り	30	30	30
	ワイヤレスマイク	本部		防滴仕様		3	3	3
	乾電池 単3	本部			マイク用3パック	12	12	12
トランシーバー	本部		農場内連絡用	統括責任者1・テント基地リーダー1・連 調員4・農場内責任者1・作業リーダー 3・埋却地1+予備2	13	13	13	
乾電池 単3	本部			トランシーバー用	40	40	40	
ホワイトボード	現地				2	2	2	
ホワイトボード用ペン	本部				6	6	6	
マグネット	本部				10	10	10	
家保緊急携帯	本部		携帯付随品		2	2	2	
モバイルバッテリー	本部				3	3	3	
スマホ用防水防塵ケース	本部				5	5	5	
アクティプスタイヤス	本部		スマホ用タッチペン	アクティプスタイヤス用	5	5	5	
乾電池 単6	本部				6	6	6	
時計(ストップウォッチ)	本部		時計付きストップウォッチ	(農場内責任者用、記録係4か所用)× 2(予備含む)	10	10	10	
耐水紙(50枚入)	本部		資材、進捗状況管理、引き継ぎ等用	雨天時用	3	3	3	
ボールペン(黒)	本部				1	1	1	
ボールペン(赤)	本部				1	1	1	
記録用紙一式	現地				1	1	1	
テント	現地			うがい・休憩用				

必要資材量等の目安

※ 上段：発生規模羽数、下段：防疫作業従事者数、防疫措置終了までのクール数目安  
 ※1 必要数の下段カッコ内は防疫作業終了までの概算  
 ※2 初動以後の不足品は原則現地対策本部が調達する。現地に調達困難な場合、本部と調整する。  
 ※3 \*の資材については家保が調達する

区分	資材名 (色付きは先遣隊が搬入)	※2 発注者	※3 家保が 追加調 達する	説明等	必要数量算出基礎	※ 1,000羽 30名4クール	※ 10,000羽 80名7クール	※ 50,000羽 100名15クール
休憩 備品	テント用ライト	現地						
	横幕	現地						
	長机	現地			各テントに1から2			
	パイプいす	現地			必要に応じて			
	ストーブ	現地			必要に応じて			
	着火ライター	現地						
	灯油缶	本部			18L	6	6	6
	灯油ポンプ	本部				3	3	3
	仮設トイレ	現地				2	5	6
	トイレトペーパー	現地						
	手洗い器	現地		手洗い	作業従事後用	2	4	4
	ハンドソープ	現地			必要量	1	4	4
	紙製ウエス(50枚入)	本部			1人4枚×5クール分+予備50	530 (530)	1650 (2290)	2050 (6050)
	5Lポリタンク	現地			持ち手つき	5	5	5
	20Lタンク	現地			手洗い用水運搬用	4	4	4
	うがい薬	現地		うがい		1	4	4
	水	現地		2L・6本/箱				
	紙コップ	現地			1人2個×5クール分+予備50	290 (290)	850 (1170)	1050 (3050)
	貼るカイロ	現地		防疫作業従事者用				
	貼るカイロ靴下用	現地		防疫作業従事者用	靴下用			
移動用履物	本部		予備					
廃棄物容器	現地		非感染性ごみ廃棄用	(着衣テント4、手洗い・うがいテント2、予備2)	2	8	8	
ポリ袋(90L、黒、厚手)	本部							
飲食物・紙コップ等	本部		休憩用	必要量				
時計	本部		掛け時計		1	5	5	
救急セット	本部				1	1	1	
テント	現地		着衣用		1	2	2	
テント用ライト	現地							
横幕	現地							
ブルーシート(10m×10m)	本部		着衣動線用		2	4	4	
コンパネ	現地		必要に応じて設置	テント基地・グレーゾーン(脱衣)・平飼 い追込用 合計12				
ゴーグル	本部	*		(1人1.5個)×5クール分+予備100	280 (280)	700 (940)	850 (2350)	
曇止めスプレー	本部			必要量	3	10	10	
防塵マスク(N95、DS2)	本部	*		(1人1.5枚)×5クール分+予備100	280 (280)	700 (940)	850 (2350)	
内側手袋(薄手)	本部	*		(1人2双)×5クール分+予備100	340 (340)	900 (1220)	1100 (3100)	
外側手袋(厚手)	本部	*		(1人1.5双)×5クール分+予備100	280 (280)	700 (940)	850 (2350)	
ヘアキャップ	本部			(1人1.5枚)×5クール分+予備100	280 (280)	700 (940)	850 (2350)	
養生テープ	現地		長靴・手袋用(25m/巻)	1人6m×1.5回×5クール分+予備	50 (50)	150 (300)	200 (600)	
防護服	本部	*		(1人1.5枚)×5クール分+予備100	280 (280)	700 (940)	850 (2350)	
油性マジックペン	本部			必要量	12	12	12	
布テープ(赤・統括責任者・農場内 責任者)	本部				10	10	10	
布テープ(緑・班長)	本部				5	5	5	
長靴	本部			(1人1足)×5クール分+予備30	220 (220)	500 (660)	600 (1530)	
長机	現地		長靴保管用	必要量				
コンテナボックス	現地		長靴保管用	必要量				
ハンディスプレー	本部		長靴用	500ml	6	6	6	
消毒用エタノール	本部	*		500ml	3	3	3	
消毒薬	本部	*	バコマ1L等(1,000倍希釈で使用)	農場緊急消毒に用いたもの	6	6	6	
動力噴霧機	本部		作業従事後の全身消毒用(汚染ゾーンとの境界部で実施)		3	3	3	
ローリータンク100L	本部		100L		3	3	3	
タフカート	本部		100Lローリータンク運搬用		3	3	3	
ホースリール	現地				1	1	1	
プラ舟	本部		踏込消毒	1テント2列で4個使用	4	8	8	
ジョイント人工芝	本部			1テント2列で2個使用	2	4	4	
洗車ブラシ	本部			1テント2列で2本使用	2	4	4	
ハンディスプレー	本部		手指消毒用	1テント2列で4個使用	4	8	8	
消毒用エタノール	本部	*		必要量	8	16	16	
感染性廃棄物容器(45L)	本部	*	長靴、外側・内側手袋、ゴーグル、N95マスク、キャップ廃 棄用	3人で1個として5クール分+αとして試 算	50 (50)	140 (190)	170 (510)	
感染性廃棄物容器 ふた	本部	*						
ミップール専用閉め具	本部	*			1	1	1	
フレコンバッグ	本部		汚染物品廃棄用	防護服等廃棄用				
テント	現地		脱衣用		1	2	2	
テント用ライト	現地							
横幕	現地							
ブルーシート(10m×10m)	本部		着衣動線用		2	4	4	
コンパネ	現地		必要に応じて設置	テント基地・グレーゾーン(脱衣)・平飼				
コンテナボックス	現地		長靴保管用	10足/個+予備2	12	15	15	
ポリ袋(90L、黒、厚手)	本部			必要量				
長机	現地		替え防護服等置場	替え防護服等置場	2	2	2	
簡易マスク	本部		コロナ対策		280	700	700	
防護服	本部	*	内側防護服汚染時用					
靴下	本部		汚染時用					
投光器	現地		発電機付	1農場4台	4	4	4	
CO2ガスボンベ(サイホン式)	本部			800羽/本+予備2本	4	40	40	
ポンベ運搬車	本部			1殺処分カ所1個(1農場3カ所)+運搬 用2	3	5	5	
バックホーン	本部			1殺処分カ所2個(1農場3カ所)+予備2	4	8	8	
T型ハンドル	本部			1殺処分カ所2セット	2	6	6	
モンキーレンチ	本部			1殺処分カ所2セット	2	6	6	
ペール(90L)	本部		蓋付き、蓋にはφ12mmの穴が2カ所空いている	運搬係人数×1.5	10	27	45	
ポリペール用台車	本部				10	36	36	
ポリ袋(90L、黒、厚手)	本部			10羽(育雛20羽、地鶏5羽)/袋+予備	400	1,300	5,300	

必要資材量等の目安

※ 上段：発生規模羽数、下段：防疫作業従事者数、防疫措置終了までのケル数目安  
 ※1 必要数の下段カッコ内は防疫作業終了までの概算  
 ※2 初動以後の不足品は原則現地対策本部が調達する。現地に調達困難な場合、本部と調整する。  
 ※3 \*の資材については家保が調達する

区分	資材名 (色付きは先遣隊が搬入)	※2 発注者	※3 家保が 追加調 達する	説明等	必要数量算出基礎	※ 1,000羽 30名4ケル	※ 10,000羽 80名7ケル	※ 50,000羽 100名15ケル
作業	結束バンド	本部			10羽/個+予備300	400	3,300	3,300
	コンパネ	現地		平飼い追込用	1箇所4枚で算出	12	12	12
	トンネル管	本部		直立ケージから家きん取り出し時	該当鶏舎に3台		3	3
	脚立兼用はしご	本部		直立4段ケージ等作業時	高所作業台に1本		3	3
	フレコンバッグ	本部		埋却時	200羽(育雛400羽、地鶏100羽)/袋	5	50	250
	カラススプレー	現地		フレコンへのマーキング用	必要量			
	フォークリフト	現地		フレコン支持・運搬用	殺処分カ所分(1農場3カ所)	3	3	3
	時計	本部		掛け時計		1	2	2
	記録用紙、筆記用具	本部	*	作業記録用	殺処分班の数による			
	バケツ(20L)	本部			必要量	20~60	20~61	20~62
フレコンバッグ	本部			0.8m <sup>3</sup> /袋	10~80	10~80	10~80	
感染性廃棄物容器(45L)	本部	*	感染性廃棄物用	焼却処分する場合	105	3,015	3,015	
感染性廃棄物容器 ふた	本部							
ミッペール専用閉め具	本部	*			2	2	2	
台車	本部			必要量				
クローラードンプ	現地		悪路の輸送用	悪路の輸送用				
パレット	現地		感染性廃棄物容器運搬用	感染性廃棄物容器7箱2段積み	8	216	216	
ストレッチフィルム	本部			必要量				
ストレッチフィルムホルダー	本部			必要量				
トラック	現地			農場隣接地以外埋却時2~4台				
消毒薬	本部	*	バコマ1L等(1,000倍希釈で使用)					
蓄圧式噴霧器	本部			必要量	3	3	3	
脚立	現地			必要量				
ハンゴ	現地			必要量				
竹ぼうき	本部			必要量	5~15	5~16	5~17	
箕	現地		備蓄11あり	必要量	20~40	20~41	20~42	
角形スコップ	本部			必要量	5~15	5~16	5~17	
ポリ袋(90L、黒、厚手)	本部			必要量				
ブルーシート(10m×10m)	本部			フレコンバッグ一時保管用、 フレコン25袋(5000羽)/枚	2	4	10	
ショベルローダー	現地			必要量				
一輪車	本部			必要量				
埋却作業	投光器	現地		発電機付	発電機付	4	4	4
	防疫フェンス	現地		必要に応じて	必要に応じて			
	バックホウ	現地		必要に応じて	必要に応じて	1	1~3	1~3
	泥水ポンプ	現地		必要に応じて	必要に応じて			
	ヘルメット	本部			埋却地・重機周辺・餌タンク清掃作業者	20	20	20
	トラロープ	現地		50m	必要量	1	3	3
	メジャー(50m)	現地			必要量	2~6	2~6	2~6
	杭	現地			必要量			
	ハンマー(木槌)等	現地			必要量			
	消石灰(20kg/袋)	本部	*	埋却溝底部等への散布。1万羽以上は鶏と卵のみの埋却を想定し算出。	1kg/m <sup>2</sup> ・20kg/袋×5回 下段は鶏・卵のみ埋却の場合	5 1	37 5	162 35
ブルーシート	現地		必要に応じて	必要に応じて				
遮水シート	現地		必要に応じて	必要に応じて				
ハンゴ	現地			必要量				
発掘禁止看板	本部			1枚	1	1	1	
ブルーシート(10m×10m)	現地			トラック輸送用、資材保管用				
消毒薬	本部	*	バコマ1L等(1,000倍希釈で使用)	1,000倍希釈で必要量				
蓄圧式噴霧器	本部			車両、施設消毒用	3	3	3	
台車	本部			焼却班人数分				
時計	本部			掛け時計	1	2	2	
集合場所	カラーベスト(赤)	本部				4	4	4
	カラーベスト(青)	本部				2	2	2
	カラーベスト(緑)	本部				20	20	20
	カラーベスト(黄)	本部				6	6	6
	赤コーン	本部				4	4	4
	コーンベツト	本部				4	4	4
	ガードバー	本部				4	4	4
	誘導灯(指示棒)	本部		単2電池タイプ		10	10	10
	乾電池 単2	本部				40	40	40
	机	現地		受付用 健康状況調査用	受付用2~4 健康状況調査用			
	椅子	現地		受付用 健康状況調査用 防疫作業従事者人数	受付用2~4 健康状況調査用 防疫作業従事者人数+α			
	現地本部員等休憩用資材	現地			必要量			
	アルコールポンプ	現地		消毒用エタノール入り	手指消毒:集合場所受付2本	2	2	2
	ボールペン(黒)	本部				1	1	1
	ボールペン(赤)	本部				1	1	1
	シャープペンシル	本部				1	1	1
	消しゴム	本部				5	5	5
	蛍光マーカー(黄色)	本部				1	1	1
	蛍光マーカー(ピンク)	本部				1	1	1
	ホワイトボード等	現地		防疫作業等説明用		3	3	3
	ホワイトボード用ペン	本部				6	6	6
	マグネット	本部				10	10	10
	拡声器等	現地			必要に応じて			
	プロジェクター等	現地		作業動画資料投影用	必要に応じて			
	デジタルカメラ	現地				1~2	1~2	1~2
	パソコン(通信機器含む)	現地		現地使用用	必要に応じて			
	パソコン(通信機器含む)	本部		本部使用用	必要に応じて			
	ブルーシート(10m×10m)	本部				5	10	10
	養生テープ	本部				30	30	30
	携帯電話	本部		連絡調整用	必要に応じて			
救急セット	現地				1	1	1	
ストーブ	現地			必要に応じて				
着火ライター	現地							
灯油缶	本部			18L	3	3	3	
灯油ポンプ	本部				1	1	1	
健康状況調査用資材	本部							
防疫作業従事者リスト	本部							
作業班分札等	本部							
タックシール	現地		荷物受付用	人数分×5ケル分+予備50	200 (200)	300 (600)	400 (1550)	
防護服	本部	*		(1人2着)×5ケル分+予備100	340 (340)	900 (1220)	1100 (3100)	
靴下	本部			(1人2枚)×5ケル分+予備100	340 (340)	900 (1220)	1100 (3100)	
ヘアキャップ	本部			(1人1枚)×5ケル分+予備100	220 (220)	500 (660)	600 (1600)	



必要資材量等の目安

※ 上段:発生規模羽数、下段:防疫作業従事者数、防疫措置終了までのケル数目安  
 必要数の下段カッコ内は防疫作業終了までの概算  
 ※2 初動以後の不足品は原則現地対策本部が調達する。現地に調達困難な場合  
 本部と調整する。  
 ※3 \*の資材については家保が調達する

区分	資材名 (色付きは先遣隊が搬入)	※2 発注者	※3 家保が 追加調 達する	説明等	必要数量算出基礎	※ 1,000羽 30名4ケル	※ 10,000羽 80名7ケル	※ 50,000羽 100名15ケル
	油性マジックペン	本部			必要量	48	48	48
	ポリ袋(90L、黒、厚手)	本部		個人所有物保管用	(1人2枚)×5ケル分+予備100	340 (340)	900 (1220)	1100 (3100)
	レジ袋	現地		白・100枚入・60号 靴用・貴重品小分用	(1人1枚)×5ケル分+予備100	220 (220)	500 (660)	600 (1600)
	貼るカイロ	現地		防疫作業従事者用				
	貼るカイロ靴下用	現地		防疫作業従事者用	靴下用			
	簡易マスク	本部		コロナ対策	人数分×5ケル分+予備100	200 (200)	300 (600)	400 (1500)
	ポリ袋(透明)	現地		ゴミ袋等(70L・透明・10枚入)		2	2	2
	移動用履物	本部		野外で使用可能な物。集合場所⇄テント基地	人数分×5ケル分+予備20	140	420	520
	フラ舟	本部		踏込消毒		4	4	4
	ジョイント人工芝	現地				4	4	4
	洗車ブラシ	現地				4	4	4
	動力噴霧機	本部		バス消毒用(集合場所に消毒ポイントが設定される場合 は不要)		1	1	1
	ガソリン缶	本部				1	1	1
	ローリータンク100L	本部				1	1	1
	タフカート	本部		100Lローリータンク運搬用		1	1	1
	ローリータンク200L	本部				1	1	1
	ハンディスプレー	本部				5	5	5
	消毒用エタノール	本部	*	手指消毒(バス乗車時)		10	10	10
	フーツカバー	本部	*	テント基地からのバス乗車時に着用	(1人2枚)×5ケル分+予備100	340 (340)	900 (1220)	1100 (3100)
	蓄圧式噴霧器	本部		バス消毒用、バスに積載。不足分は現地にて調達	バス台数分	3	3	3
	消毒薬	本部	*	パコマ1L等		3	3	3
消毒 ポ イ ン ト ( 1 か 所 あ た り ) 備 蓄 は 6 か 所 分	消毒ポイント予告看板	本部		不足分は現地にて調達			2以上	
	消毒ポイント看板	本部		不足分は現地にて調達			1~2	
	投光器	現地					必要数	
	発電機	現地					必要数	
	コンテナハウス	現地					1	
	長机	現地					2	
	椅子	現地					4	
	赤コーン	現地						必要数
	コーンベットの	現地						必要数
	ガードバー	現地						必要数
	赤色灯	本部			不足分は現地にて調達			1
	誘導灯(指示棒)	本部			単2電池タイプ。不足分は現地にて調達			2
	乾電池 単2	本部			不足分は現地にて調達			48
	懐中電灯	現地						
	消毒薬	本部	*		車両消毒	パコマ1L等(1,000倍希釈で使用)		3
	動力噴霧機	本部						1
	ローリータンク	現地						1
	ハンディスプレー	本部			手指消毒用。不足分は現地にて調達	500ml		1
	消毒用エタノール	本部	*			500ml		2
	紙製ウエス	本部			不足分は現地にて調達			
	フラ舟	現地			踏込消毒			1
	ジョイント人工芝	現地						1
	洗車ブラシ	現地						1
	時計	現地						1
	ストーブ	現地				必要に応じて		
	着火ライター	現地						
	灯油缶	本部			不足分は現地にて調達	18L		2
	灯油ポンプ	本部			不足分は現地にて調達			1
	仮設トイレ	現地						1
	トイレ紙ペーパー	現地						
	ガソリン缶	本部			必要に応じ(動噴など燃料補給用) 不足分は現地にて調達	20L		2
	軽油缶	本部			不足分は現地にて調達	20L		2
	雨合羽	本部			不足分は現地にて調達			3
防護服	本部	*		タイベックⅢ型同等品			20	
内側手袋	本部	*					100	
外側手袋	本部	*					50	
長靴	本部						9	
ゴーグル	本部	*					9	
簡易マスク	本部						9	
軍手	本部			不足分は現地にて調達	滑り止め付き・5双		5	
ボールペン(黒)	本部			不足分は現地にて調達			1	
ボールペン(赤)	本部			不足分は現地にて調達			1	
シャープペンシル	本部			不足分は現地にて調達			1	
消しゴム	本部			不足分は現地にて調達			1	
油性マジックペン	本部			不足分は現地にて調達			2	
車両消毒済印	本部						1	
スタンプ台(赤)	現地						1	
画版	現地							
車両消毒確認書	現地				マニュアルから印刷		必要量	
車両消毒実施台帳	現地				マニュアルから印刷		必要量	
消毒ポイント作業記録	現地				マニュアルから印刷		必要量	
デジタルカメラ	現地			設置時記録用			1	
ポリ袋(90L、黒、厚手)	本部			不足分は現地にて調達			10	
養生テープ	本部			不足分は現地にて調達			2	